

# 平成28年度学校評価

鹿児島県立指宿高等学校

## 1 学校評価の集計結果

- (1) 教務部 … p.1
- (2) 生徒指導部 … p.2
- (3) 進路指導部 … p.3
- (4) 保健部 … p.4
- (5) 教職員自己評価 … p.5
- (6) 生徒自己評価
  - ① 1学年 … p.6
  - ② 2学年 … p.7
  - ③ 3学年 … p.8
- (7) 保護者評価 … p.9

## 2 学校評価の分析

- (1) 教務部 … p.10
- (2) 生徒指導部 … p.11
- (3) 進路指導部 … p.12
- (4) 保健部 … p.13
- (5) 教職員自己評価 … p.14
- (6) 生徒自己評価
  - ① 1学年 … p.15
  - ② 2学年 … p.16
  - ③ 3学年 … p.17
- (7) 保護者評価 … p.18

## 3 学校関係者評価委員会（F I 委員会）報告

- (1) 第1回F I 委員会 … p.19
- (2) 第2回F I 委員会 … p.20
- (3) 第3回F I 委員会（学校関係者評価） … p.21

（ **F I : For Improvement** ～改善のための ）

# 1- 教務部集計結果

総合判定 合算(A+B)

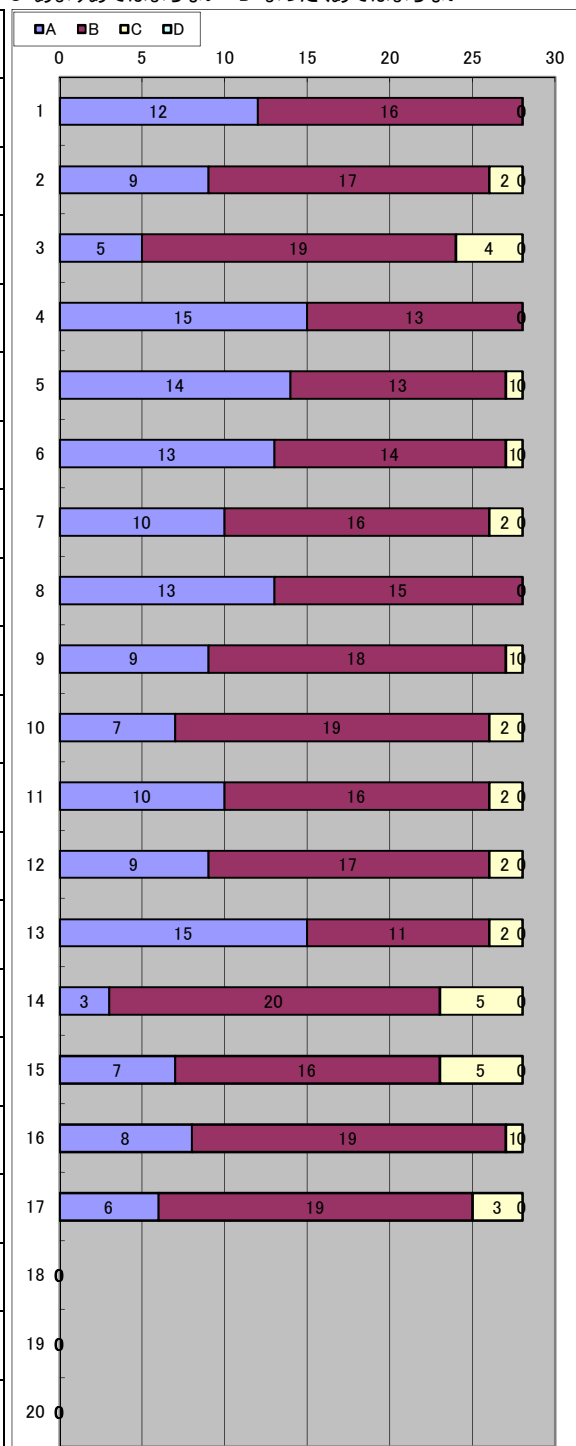
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	教育目標は、学校の実態に即した目標が適切に設定されている。	12	16	0	0	◎
2	生徒や保護者に対して教育目標や重点を分かりやすく示している。	9	17	2	0	◎
3	学校全体の校務が円滑に推進できるよう、分掌相互の連携が図られている。	5	19	4	0	◎
4	全体朝礼・儀式等は、効率よく計画され円滑に実施されている。	15	13	0	0	◎
5	生徒の個性を伸ばし、進路希望の実現に結びつく教育課程を編成している。	14	13	1	0	◎
6	行事の精選や時間割変更などにより、授業確保の努力がなされている。	13	14	1	0	◎
7	生徒一人一人の習熟度に応じた指導法の研究がなされている。	10	16	2	0	◎
8	研究授業など教職員相互の研究を推進している。	13	15	0	0	◎
9	考査問題の作成および結果についての相互検討の推進と、それに基づく事後指導の徹底が図られている。	9	18	1	0	◎
10	「総合的な学習の時間」は、そのねらいを達成するための計画・実践がなされ、時数が確保されている。	7	19	2	0	◎
11	学校の伝統・校風を大切にしながら、特色ある学校行事の創意工夫を行っている。	10	16	2	0	◎
12	学校と保護者が連携し、協力体制が図られている。	9	17	2	0	◎
13	PTA活動が活発に行われ、学校もその活動を積極的に支援している。	15	11	2	0	◎
14	中学校や地域・関係機関等との連携に向けて、具体的な取り組みが行われている。	3	20	5	0	◎
15	保護者や地域の意見を聞き、その信頼と期待に応えていこうと努めている。	7	16	5	0	◎
16	パソコンによる校務処理により、データの共有化と職務の効率化が図られている。	8	19	1	0	◎
17	様々な教育課題を踏まえた校内研修が計画・実施されている。	6	19	3	0	◎
18	0	0	0	0	0	#DIV/0!
19	0	0	0	0	0	#DIV/0!
20	0	0	0	0	0	#DIV/0!



## 2- 生徒指導部集計結果

総合判定 合算(A+B)

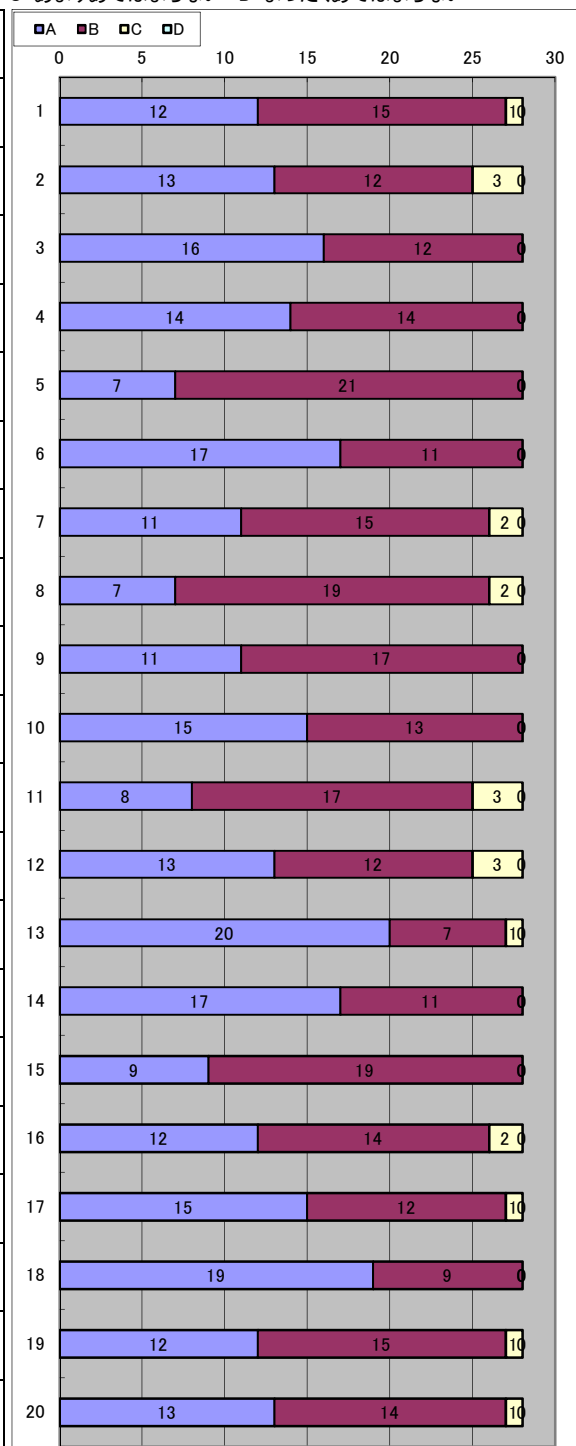
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	校内分掌は、学校の実情や基本方針に応じて人員が配置されている。	12	15	1	0	◎
2	「生徒指導は全職員で行う」という共通理解と指導体制が確立されている。	13	12	3	0	◎
3	命の大切さや人権を尊重する心(いじめに関する教育)など、豊かな心を育てる努力をしている。	16	12	0	0	◎
4	日頃から、問題行動や事故等を未然に防ぐための安全確保に努めている。	14	14	0	0	◎
5	地域社会から本校が信頼を得ているか確認し、「魅力ある学校づくり」を目指し、学校の活性化に努めている。	7	21	0	0	◎
6	生徒の基本的な生活習慣の確立を図るとともに社会規範を遵守できる自律心と礼儀作法を育成している。	17	11	0	0	◎
7	諸活動を通し、自主的活動を引き出すとともに、学校生活に目標を持たせ、中途退学の未然防止に努めている。	11	15	2	0	◎
8	教師の資質向上や実践的指導力を養うとともに、学校の活性化につながる研修を企画・実施している。	7	19	2	0	◎
9	きめ細かな教育相談の研究と実践が行われており、問題がみられる生徒にはよく意思疎通を図り、的確に	11	17	0	0	◎
10	全体集合時等機敏に行動し、私語をしない態度の育成がなされている。	15	13	0	0	◎
11	部活動と学業との両立を目標として、日常的に生徒と交流を図り、学校活性化に役立っている。	8	17	3	0	◎
12	生徒会役員(執行部・HR委員等)にリーダーとして自覚と責任を持たせ、生活や行事に意欲的に取り組ませ	13	12	3	0	◎
13	校内・校外巡回指導を必要に応じて実施し、生徒の問題行動防止に努めている。	20	7	1	0	◎
14	登下校指導・装指導・服装指導等を通して、あいさつの励行や交通安全指導を行っている。	17	11	0	0	◎
15	生活のリズムが整っていない生徒を対象に、自学自習や過ごし方等を指導している。	9	19	0	0	◎
16	職員間の連絡を密にしながら、生徒とコミュニケーションを図り、円滑な学校生活に積極的に取り組んでいる。	12	14	2	0	◎
17	読書の勧めと有効な図書を整備・活用がなされており、図書館がさまざまな情報収集の場となっている。	15	12	1	0	◎
18	掲示板や図書館だよりを通じて新刊案内等の情報発信に取り組んでいる。	19	9	0	0	◎
19	家庭および関係機関・団体等との綿密な連携による校外指導が徹底されている。	12	15	1	0	◎
20	生徒の健全育成に向け、PTAと地域社会と連携し、その教育力を活用した取組が行われている。	13	14	1	0	◎



### 3-1 進路指導部集計結果

総合判定 合算(A+B)

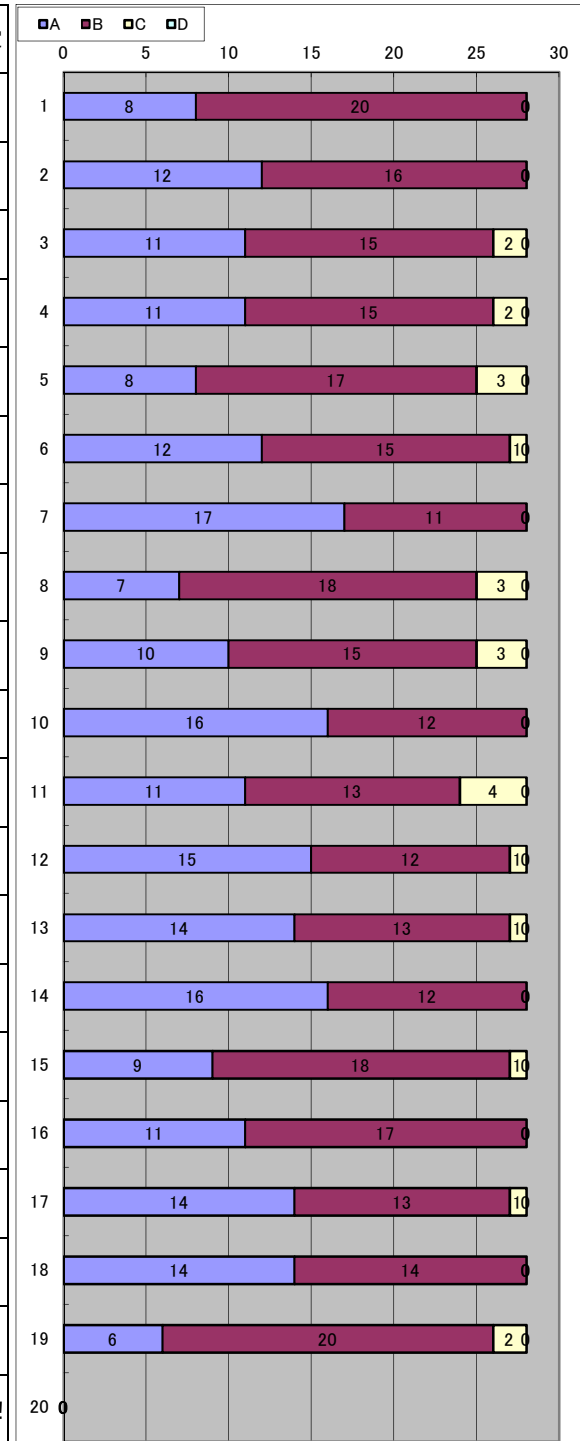
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	個性・能力の啓発と、それに基づく進路の早期決定をはかり、進路目標を確立させている。	8	20	0	0	◎
2	学級担任・教科担任間の緊密な連携により、生徒の個性・能力の総合的な把握を推進している。	12	16	0	0	◎
3	学年間の連携により、段階を踏まえた指導計画・指導体制を確立している。	11	15	2	0	◎
4	進路指導資料の整備をし、進路情報を計画的に提供している。	11	15	2	0	◎
5	自主的な学習姿勢を育て、進路実現を進める進路体制を確立している。	8	17	3	0	◎
6	各係が仕事を分担し、積極的に生徒を指導し、的確な進路指導を目指している。	12	15	1	0	◎
7	朝課外の30分間は、有効に活用できている。	17	11	0	0	◎
8	宅習課題の適正化の研究・実施と宅習習慣の定着指導がなされている。	7	18	3	0	◎
9	夏季・冬季の課外は、現在の日数が適当である。	10	15	3	0	◎
10	列車通学生にとって、朝課外の開始時刻は現在のままでよい。	16	12	0	0	◎
11	土曜学習は、進路志望実現のための学力向上に役立っている。	11	13	4	0	◎
12	進路講演会は各学年に応じた進路指導に役立っている。	15	12	1	0	◎
13	公務員・就職希望の生徒のための指導が適切に行われている。	14	13	1	0	◎
14	対外模試は、生徒の学力の把握、また生徒の学力向上に役立っている。	16	12	0	0	◎
15	小論文模試は、学力向上に役立っている。	9	18	1	0	◎
16	実力考査は、生徒の学力向上、生徒の学力把握に役立っている。	11	17	0	0	◎
17	3年生の視聴覚室での自学自習は、しっかり行われている。	14	13	1	0	◎
18	合格体験記は、1・2年生の進路指導に役立っている。	14	14	0	0	◎
19	生徒への進路指導は、保護者によく理解されている。	6	20	2	0	◎
20		0	0	0	0	#DIV/0!



### 4-1 保健部集計結果

総合判定 合算(A+B)

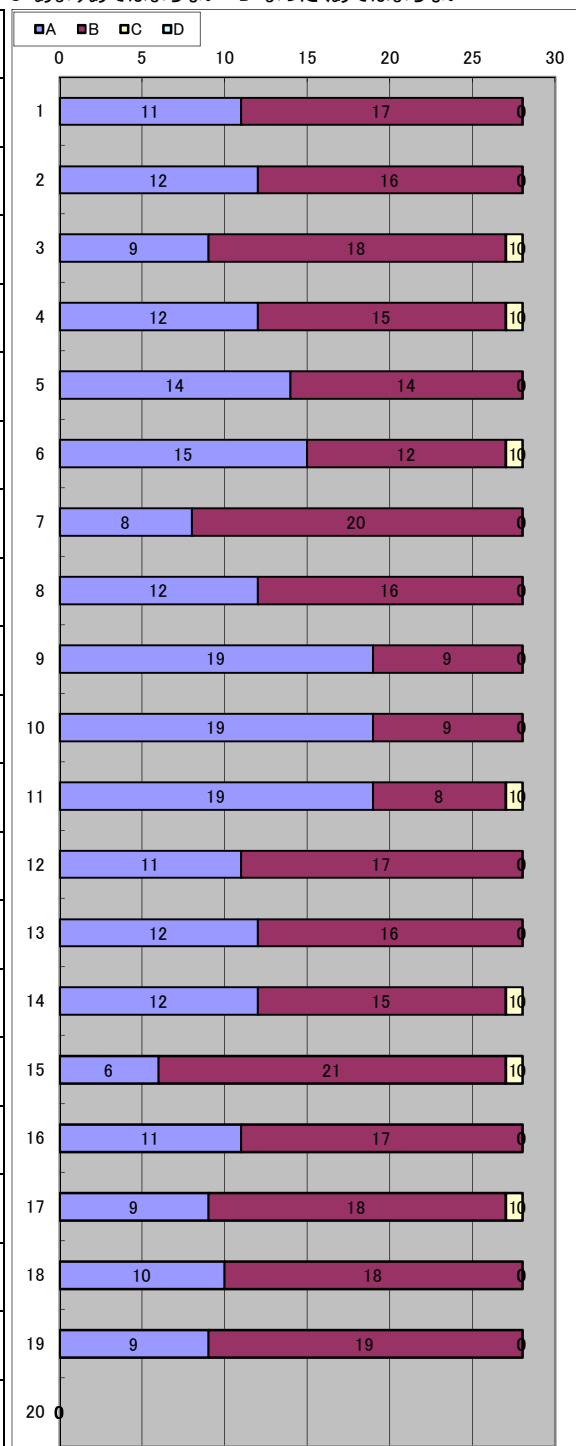
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	保健行事や保健指導内容を綿密に計画し、保健部全体がスムーズに運営されている。	11	17	0	0	◎
2	各部や各委員会との連携を図り、学校全体で生徒の健康教育推進に取り組んでいる。	12	16	0	0	◎
3	学校保健委員会や生徒保健委員会は積極的に活動し、健康教育推進に取り組んでいる。	9	18	1	0	◎
4	保護者及び医療及び他の関係機関との連携強化が図られている。	12	15	1	0	◎
5	健康診断の確実な実施、実態の把握、事後指導が適切になされている。	14	14	0	0	◎
6	保健室来訪者や生活実態調査などにより悩みを抱える生徒の実態を把握し、適切な「心のケア」ができてい	15	12	1	0	◎
7	栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導を行い、実践に努めさせている。	8	20	0	0	◎
8	生徒指導部と連携し、喫煙防止及び薬物乱用防止の啓発がなされている。	12	16	0	0	◎
9	行事や体育の授業において、集団行動の指導に取り組んでいる。	19	9	0	0	◎
10	体育の授業や体育的学校の行事を通して、運動技能や体力の向上が図られている。	19	9	0	0	◎
11	生徒の自主性を生かした体育的行事が行われている。	19	8	1	0	◎
12	人権尊重の視点に立ち、保健・安全指導に努めている。	11	17	0	0	◎
13	生徒職員が一体となり、校内の美化に努めている。	12	16	0	0	◎
14	生徒職員が一体となり、塵の分別収集に努めている。	12	15	1	0	◎
15	清掃用具の管理は適切に行われている。	6	21	1	0	◎
16	防火防災の訓練は綿密な計画のもと、的確に行われている。	11	17	0	0	◎
17	災害などに対する危機意識向上のための指導が適切に行われている。	9	18	1	0	◎
18	毎月の安全点検が確実にされ、早急でかつ的確な対応がなされている。	10	18	0	0	◎
19	公共物の使用の指導やリサイクルに努めるなど、環境保全率先実行計画を推進している。	9	19	0	0	◎
20		0	0	0	0	#DIV/0!



### 5- 教職員自己評価集計結果

総合判定 合算(A+B)

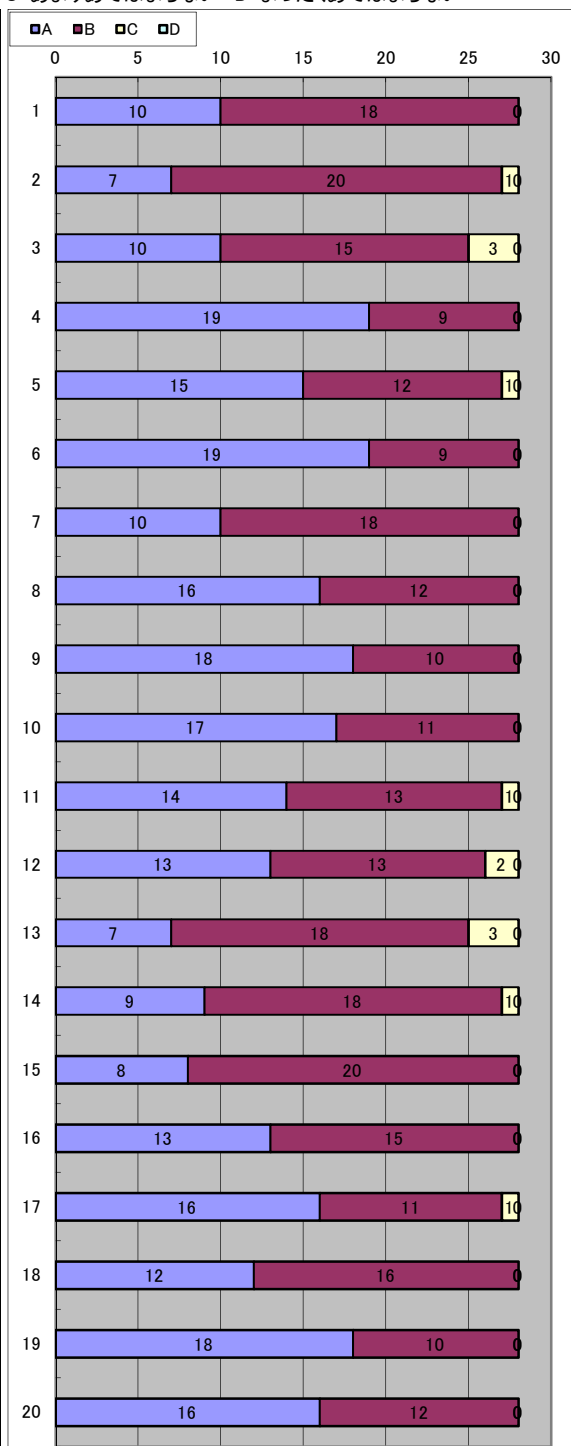
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	本校の課題を十分認識し、その解決のために日ごろの教育活動を積極的に行っている。	10	18	0	0	◎
2	社会変化に対応するため、教育に関する提言や地域の意見等の情報を積極的に収集し、その理解・解決に	7	20	1	0	◎
3	各種研修会に意欲的に参加し資料を参考にするなど、自己研鑽を行っている。	10	15	3	0	◎
4	勤務の厳正化や服務規律の遵守について自覚して努力している。	19	9	0	0	◎
5	年間指導計画について教科で話し合ったものを生徒に提示し、計画的に授業を行っている。	15	12	1	0	◎
6	学力の実態に即し、教材研究・授業方法の工夫・改善を図っている。	19	9	0	0	◎
7	生徒の反応や意見を十分把握し、分かる授業を行っている。	10	18	0	0	◎
8	予習・復習や課題の内容についてはその妥当性を検討するとともに、実施状況や提出状況を常に点検し、指	16	12	0	0	◎
9	始業ベルと同時に授業を開始して、授業時間確保と生徒の授業態度の指導に努めている。	18	10	0	0	◎
10	一人一人の生徒の状況(学力・健康・心情・環境等)を把握するとともに、常に状況を観察して生徒理解に	17	11	0	0	◎
11	欠席・遅刻・早退、生徒の安全(事故・いじめ等)に対する状況を絶えず把握し、必要に応じて保護者と連絡	14	13	1	0	◎
12	学習記録表等を活用して、学習の習慣化の指導に努めている。	13	13	2	0	◎
13	特別教育活動(LHR・学校行事・生徒会活動等)に計画的に取り組ませ、生徒個々の活動についてもきち	7	18	3	0	◎
14	学級経営や授業の実践は学校の経営方針に従い、生徒の実態や保護者の願い・希望を十分踏まえながら	9	18	1	0	◎
15	各学年の進路指導計画に従って、生徒および保護者に情報を与え、的確な進路指導を行っている。	8	20	0	0	◎
16	生徒指導の方針をよく理解して生徒にきちんと説明し、日常の風紀指導に努めている。	13	15	0	0	◎
17	保健部の方針をよく理解し、清掃活動は生徒と共に取り組んでいる。	16	11	1	0	◎
18	学級に関する公簿の記入、管理は正確・適正に行っており、学級の施設・備品等の管理も適切に行ってい	12	16	0	0	◎
19	正・副担任でお互いに生徒に関する指導の経過や情報を伝え合い、常に協力して学級経営を行っている。	18	10	0	0	◎
20	校務分掌では自分の係の内容を把握し、工夫・改善しながら企画・運営に積極的に取り組んでいる。	16	12	0	0	◎



### 6- 生徒学校生活集計結果(1年)

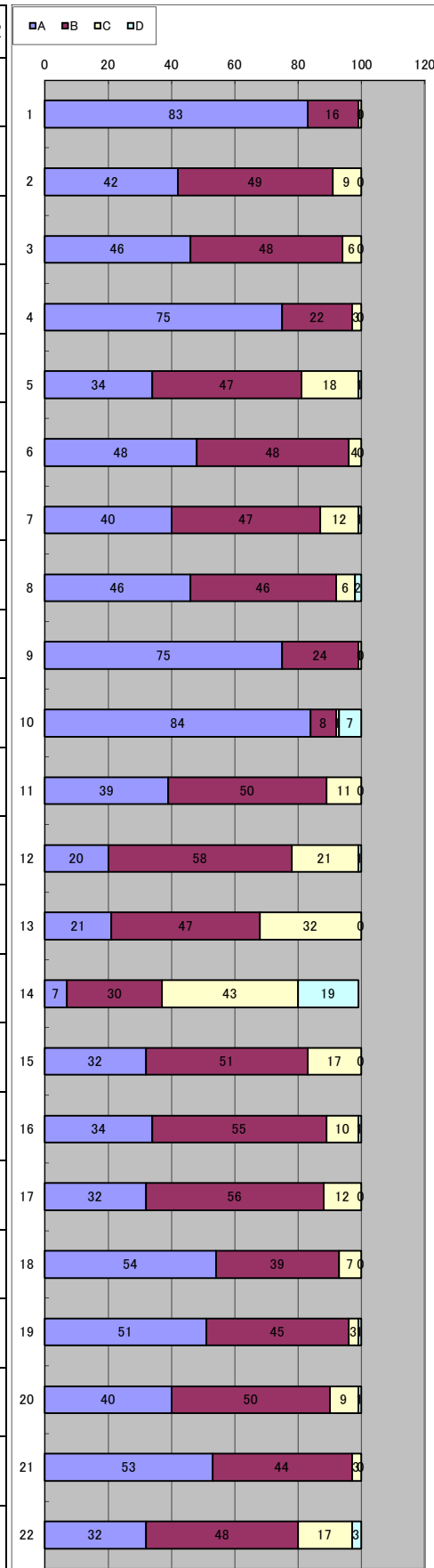
総合判定 合算(A+B)

◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	体育祭、文化祭及び池田湖一周遠行などの学校行事には積極的に参加している。	83	16	1	0	◎
2	各種の講演会等は、自分の生き方や在り方を考える上で参考になっている。	42	49	9	0	◎
3	LHRや総合的な学習の時間は将来の進路を考えたり、学校生活を充実させたりするのに有意義な時間としている。	46	48	6	0	◎
4	朝読書の時間は落ち着いて読書をしている。	75	22	3	0	◎
5	保護者に学校の配布物をきちんと渡し、学校のことについても話をしている。	34	47	18	1	◎
6	学校の雰囲気は良く、充実した日々を送ることができるので後輩にも勧められる学校である。	48	48	4	0	◎
7	日頃の生活や学習及び進路について、先生方から適切なアドバイスを得ている。	40	47	12	1	◎
8	部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他の人々と協力しながら自分を向上させようと努めている。	46	46	6	2	◎
9	交通ルールや社会生活のマナーを守っている。	75	24	1	0	◎
10	携帯電話、音声プレーヤー等を学校に持ち込んでいない。	84	8	1	7	◎
11	困っている人や手助けを求めている人に対して、進んで手を差し延べることができる。	39	50	11	0	◎
12	宅習や授業中のノートのとりかた、利用の仕方を工夫している。	20	58	21	1	△
13	家庭での予習・復習をしたうえで、日々の授業に臨み、学力向上に努めている。	21	47	32	0	△
14	学校の進路指導等の資料をよく活用している。	7	30	43	19	×
15	高校生として基本的な生活習慣を身につけ、食事や運動に注意し、健康管理に常に努力している。	32	51	17	0	◎
16	任された区域の清掃に一生懸命取り組んでいる。また、教室内の美化や教材等の整理整頓について日頃から意識して学校生活を送っている。	34	55	10	1	◎
17	地震や火災等の災害時どのような行動をとるべきか理解している。	32	56	12	0	◎
18	先生方は生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、指導法や課題等を工夫している。	54	39	7	0	◎
19	与えられた課題(宿題等)は、適切である。(平日の自宅学習時間の目安:3時間程度)	51	45	3	1	◎
20	先生方は日頃から声を掛けて、生徒の疑問・質問や悩みなどの相談によく応えてくれる。	40	50	9	1	◎
21	先生方は授業の終始のけじめや、自習に対する手立てをきちんとしている。	53	44	3	0	◎
22	先生方の、学校生活での生徒に対する態度は、すべての生徒に対して公正である。	32	48	17	3	◎



## 6-1 生徒学校生活集計結果(2年)

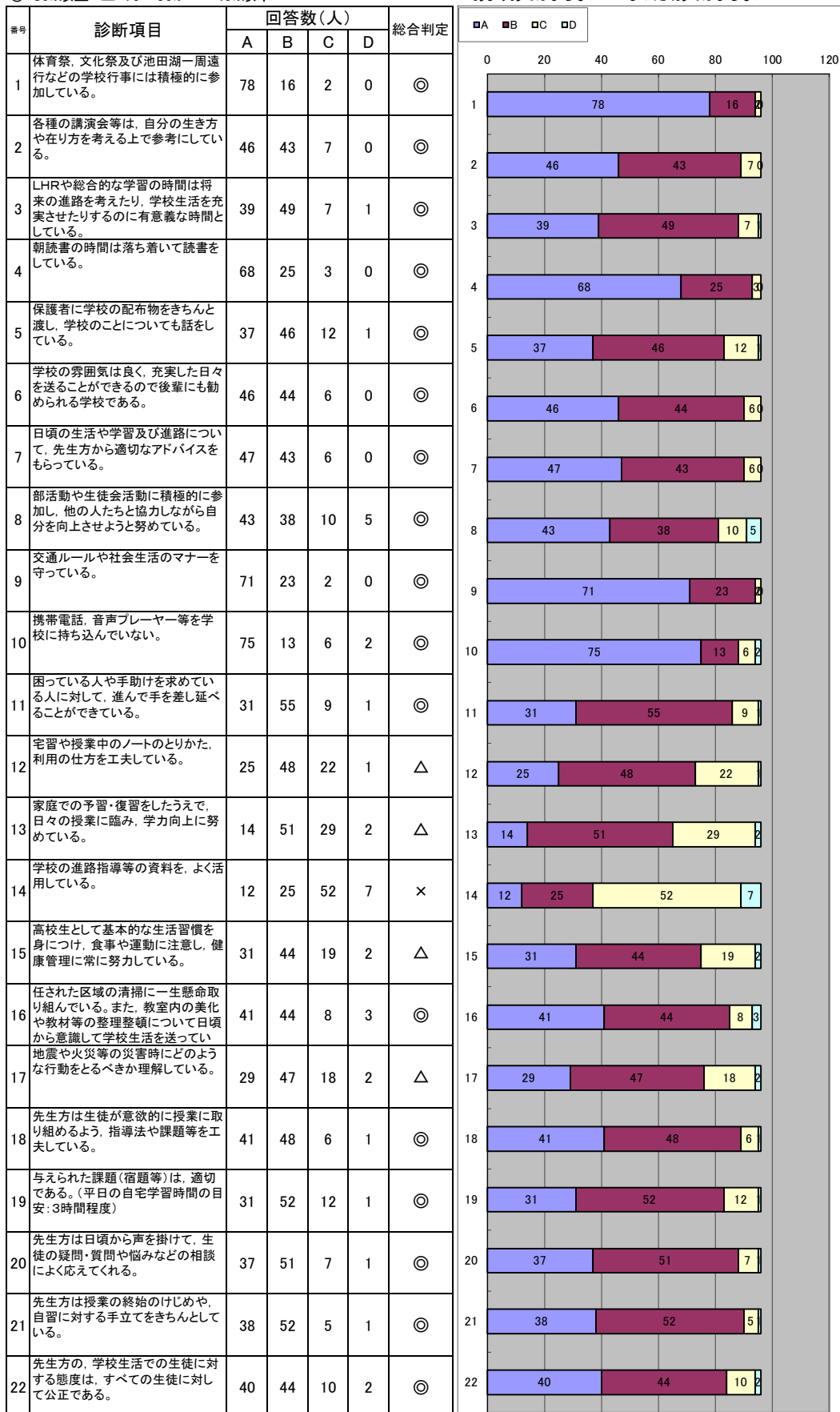
総合判定 合算(A+B)

◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない





6- 生徒学校生活集計結果(3年)

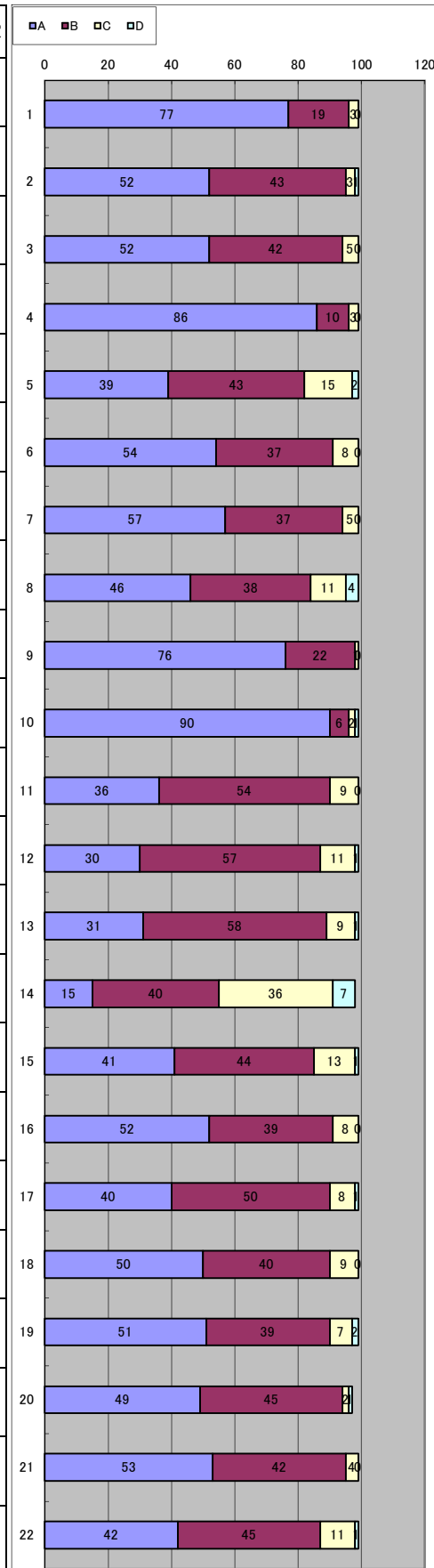
総合判定 合算(A+B)

◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	体育祭、文化祭及び池田湖一周遠行などの学校行事には積極的に参加している。	77	19	3	0	◎
2	各種の講演会等は、自分の生き方や在り方を考える上で参考になっている。	52	43	3	1	◎
3	LHRや総合的な学習の時間は将来の進路を考えたり、学校生活を充実させたりするのに有意義な時間としている。	52	42	5	0	◎
4	朝読書の時間は落ち着いて読書をしている。	86	10	3	0	◎
5	保護者に学校の配布物をきちんと渡し、学校のことについても話をしている。	39	43	15	2	◎
6	学校の雰囲気は良く、充実した日々を送ることができるので後輩にも勧められる学校である。	54	37	8	0	◎
7	日頃の生活や学習及び進路について、先生方から適切なアドバイスをもらっている。	57	37	5	0	◎
8	部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他の人たちと協力しながら自分を向上させようと努めている。	46	38	11	4	◎
9	交通ルールや社会生活のマナーを守っている。	76	22	1	0	◎
10	携帯電話、音声プレーヤー等を学校に持ち込んでいない。	90	6	2	1	◎
11	困っている人や手助けを求めている人に対して、進んで手を差し延べることができる。	36	54	9	0	◎
12	宅習や授業中のノートのとりかた、利用の仕方を工夫している。	30	57	11	1	◎
13	家庭での予習・復習をしたうえで、日々の授業に臨み、学力向上に努めている。	31	58	9	1	◎
14	学校の進路指導等の資料を、よく活用している。	15	40	36	7	△
15	高校生として基本的な生活習慣を身につけ、食事や運動に注意し、健康管理に常に努力している。	41	44	13	1	◎
16	任された区域の清掃に一生懸命取り組んでいる。また、教室内の美化や教材等の整理整頓について日頃から意識して学校生活を送っている。	52	39	8	0	◎
17	地震や火災等の災害時どのような行動をとるべきか理解している。	40	50	8	1	◎
18	先生方は生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、指導法や課題等を工夫している。	50	40	9	0	◎
19	与えられた課題(宿題等)は、適切である。(平日の自宅学習時間の目安:3時間程度)	51	39	7	2	◎
20	先生方は日頃から声を掛けて、生徒の疑問・質問や悩みなどの相談によく応えてくれる。	49	45	2	1	◎
21	先生方は授業の終始のけじめや、自習に対する手立てをきちんとしている。	53	42	4	0	◎
22	先生方の、学校生活での生徒に対する態度は、すべての生徒に対して公正である。	42	45	11	1	◎



## 7- 保護者評価集計結果(全体)

総合判定 合算(A+B)

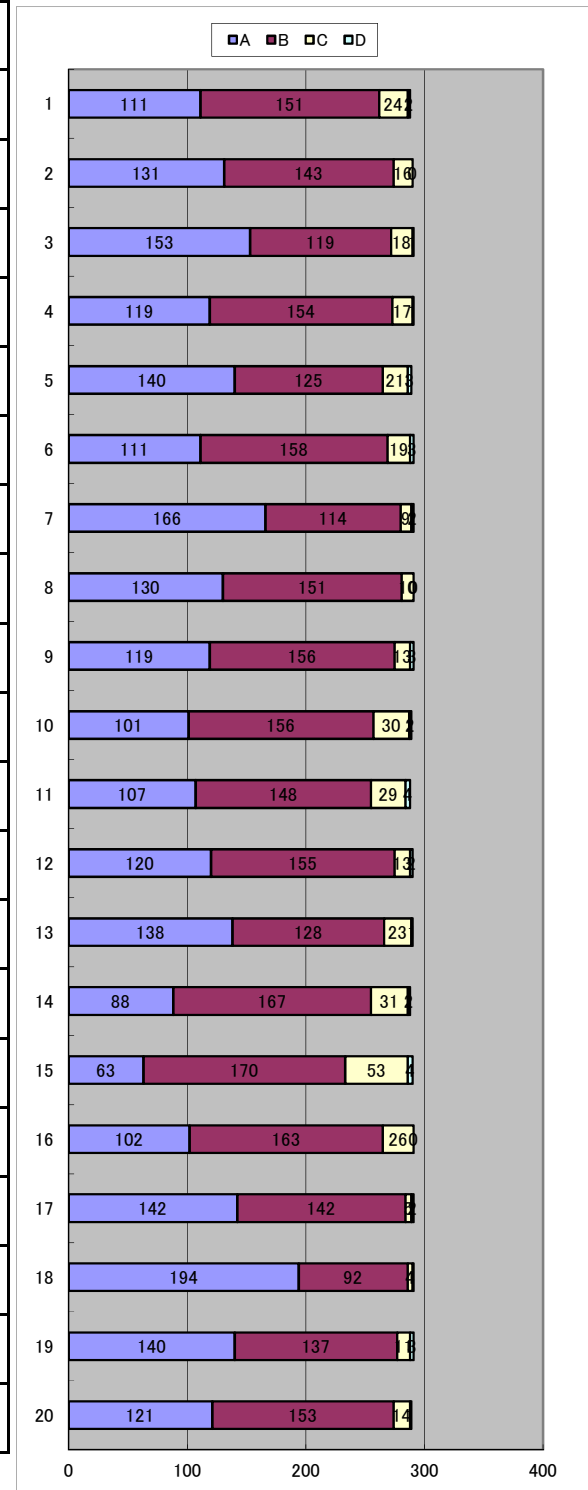
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	教育方針・目標について保護者に十分説明がなされている。	111	151	24	2	◎
2	「柏葉通信」等広報活動が良くなされており、学校の様子がよく分かる。	131	143	16	0	◎
3	生徒の動静(欠席・遅刻・早退)等について、互いの連携はよくとれている。	153	119	18	1	◎
4	PTA活動等を通して学校と保護者の協力体制が機能している。	119	154	17	1	◎
5	職員は熱意を持って適切な言動・態度で対応してくれる。	140	125	21	3	◎
6	生徒と教師の信頼関係に基づいた適切な指導が行われている。	111	158	19	3	◎
7	服装・髪型・あいさつなどきちんと指導がなされている。	166	114	9	2	◎
8	生徒は交通ルール、乗車マナーを守って通学している。	130	151	10	0	◎
9	部活動に力を注ぎ、生徒の心身の鍛錬・育成に努めている。	119	156	13	3	◎
10	職員のチームワークが良く、指導に信頼が置ける。	101	156	30	2	◎
11	生徒一人一人を大切に、個に応じた学習・進路指導がなされている。	107	148	29	4	◎
12	進路だよりや講演会等を通じて進路情報が適切に提供されている。	120	155	13	2	◎
13	進路実現のために、授業・課外等を通じて学力向上が図られている。	138	128	23	1	◎
14	学習内容及び課題の量は適切である。	88	167	31	2	◎
15	学習と部活動の両立がうまくなされている。	63	170	53	4	◎
16	生徒の健康保持・増進に向けた指導が適切に行われている。	102	163	26	0	◎
17	環境美化に努め、校内・学校周辺の清掃が適切になされている。	142	142	5	2	◎
18	文化祭・体育祭・遠行など諸行事に生徒が積極的に参加している。	194	92	4	1	◎
19	指宿高校には友人が多く、良い刺激を受けている。	140	137	11	3	◎
20	教育活動を推進するに当たり、生徒・保護者の人権に配慮がなされている。	121	153	14	1	◎



# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 教務部

### 1. 集計結果の分析・考察

昨年度より◎になる割合を80%引き上げたが、すべての項目が◎であった。(昨年は1項目が△で、それ以外の項目において◎であった)

全員がA・Bと評価したのは、以下3項目である。(昨年は6項目)

1. 「教育目標とその設定」
4. 「全体朝礼・儀式等の効率よい計画と円滑な実施」
8. 「研究授業など教職員相互の研究の推進」

1・8は昨年に引き続いての高評価であった。4は担当職員の計画的な実施・運営と相まって、生徒の集合や態度などの良さも高評価につながっているであろう。また8も高い評価であった。授業方法や内容について、教職員同士お互いに意見交換できる雰囲気があるからであろう。

それに対して、Cの評価がいくらか(5人)あったのは、以下の項目である。

14. 「中学校や地域との連携に向けての具体的取り組み」
15. 「保護者や地域の信頼と期待に応える努力」

14はAの評価が最も少なかった。学年3クラス規模の小規模校で、職員一人一人の仕事量が多くなり、多忙な校務の中ではあるが、地域・中学校・保護者の声に耳を傾け、期待と信頼に応える具体的な取り組みが必要であろう。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

今年度は意見記入欄に改善策の記入がありました。

3. 「校務が円滑な推進のための、分掌相互の連携」 → 引き継ぎがあまりうまくいっていないと思われるところがある。(クラス名票の出席番号のチェックなど)
12. 「学校と保護者の連携と協力体制の構築」 13. 「活発なPTA活動の実施と学校の積極的支援」 → 保護者の動きに比べて、職員の側の動きが足りない。PTA係任せではなく、もう少し職員も入ってもいいのではないか。
15. 「保護者や地域の信頼と期待に応える努力」 → 例えば部活動のあり方など、意見を聞くことで生徒募集に繋がる所もある。

少子化が進む中、募集定員の確保が指宿高校の大きな課題だと考えます。このことは職員一丸となって推し進めていく必要があります。

活力ある学校作りを進めるとともに、保護者や地域・中学校や関係機関との連携を密にしていくことは、募集定員の確保にもつながるでしょう。保護者や地域との互恵関係が築ければ、部活動や学習面でも指宿高校にとってプラスにの効果が働くだらうと思います。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 生徒指導部

### 1. 集計結果の分析・考察

- ・ 昨年度同様、20項目診断のうち、20項目で総合判定が◎であった。  
しかし、C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない と答えた数が延べ20人であった。(昨年度26人、一昨年度17人)
- ・ A：よくあてはまる と答えた特に評価が高い項目が、13「校内・校外巡回指導を必要に応じて実施し、生徒の問題行動防止に努めている」、18「掲示板や図書館だよりを通じて新刊案内等の情報発信に取り組んでいる」、6「生徒の基本的生活習慣の確立を図るとともに社会規範を遵守できる自律心と礼儀作法を育成している」、14「登下校指導・躰指導・服装指導等を通して、あいさつの励行や交通安全指導を行っている」、3「命の大切さや人権を尊重する心(いじめに関する教育)など、豊かな心を育てる努力をしている」等の項目である。
- ・ A：よくあてはまる、B：ややあてはまる の回答のみの項目は、4「日頃から、問題行動や事故等を未然に防ぐための安全確保に努めている」、5「地域社会から本校が信頼を得ているか確認し、「魅力ある学校づくり」を目指し学校の活性化に努めている」、9「きめ細かな教育相談の研究と実践が行われており、問題がみられる生徒にはよく意思疎通を図り、的確に指導している」、10「全体集合時機敏に行動し、私語をしない態度の育成がなされている」、15「生活のリズムが整っていない生徒を対象に、自学自習や過ごし方等を指導している」、及び上記3、6、14、18 の9項目であった。(昨年度5項目)
- ・ D：まったくあてはまらない の回答はなかった。(昨年度7項目)
- ・ 昨年度と比較して、6「生徒の基本的生活習慣の確立を図るとともに社会規範を遵守できる自律心と礼儀作法を育成している」は、A：よくあてはまる の回答数が増加した。  
以上の結果を踏まえ、指導の改善や効果がみられていることが分かる。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- ・ 8「教師の資質向上や実践的指導力を養うとともに、学校の活性化につながる研修を企画・実施している」、11「部活動と学業との両立を目標として、日常的に生徒と交流を図り、学校活性化に役立っている」については、B：ややあてはまる の回答が多く、また、C：あまりあてはまらない の回答もあることから、指導体制や指導方法そして職員間の連携において、まだまだ改善の必要があると考えられる。
- ・ 7、11について、「部活動のあり方について、出場規定や日頃の練習にどのような場合に参加できないのかしっかりと確認する必要があると思います。」と教職員の共通理解が必要との意見があった。
- ・ 昨年度と比較して、5「地域社会から本校が信頼を得ているか確認し、「魅力ある学校づくり」を目指し、学校の活性化に努めている」は、A：よくあてはまる の回答数が減少した。また、20「生徒の健全育成に向け、PTAと地域社会と連携し、その教育力を活用した取り組みが行われている」は、昨年度よりAの回答数が増加したものの、引き続き、基本的生活習慣の確立や携帯電話の使用等も含めて連携強化を図る必要がある。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 進路指導部

### 1. 集計結果の分析・考察

#### 1. 進路指導部集計結果より

19項目すべて◎ではある（平成23～26年度もすべて◎）。

- ・前年と比較してもほとんどの項目で高評価（特に朝課外，考査や模試，講演会）
- ・土曜学習については評価が下がった（自学の推奨から回数減の意見あり）
- ・平日の課題の均等化をすべき（日によって量がバラバラは良くない）
- ・合格体験記の早期配布

#### 2. 保護者評価集計結果より

進路指導部に関するもの【項目11～15】 1学年の15以外は◎

- ・1学年の15「学習と部活動の両立」は毎年△（2学年になり◎。両立の慣れ？）
- ・11～14の項目においては学年によりAとBの割合が大きく異なる
- ・全体は良いので，さらにBをAに上げる取り組みを各学年で検討する

#### 3. 生徒自己評価集計結果より

進路指導部に関するもの【項目7，12，13，14，18，19，21】

- ・7「先生からの適切なアドバイス」については各学年とも高評価
- ・12「ノートの利活用」については，1学年のみ◎
- ・13「予習・復習」においては，1学年のみ◎（予習の必要性を問う教科の特性？）
- ・14「進路指導資料の活用」においては，1学年のみ△，他は×
- （7の高評価から…先生頼みになり，自分で動いていない。動く仕掛けが必要）
- ・18，19，21の項目は各学年とも高評価（教師の取り組み，課題の量）

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

#### 1. 進路指導部集計結果に対して

##### ① 課題の量の調整（平日・週末・長期休暇）

例 平日の課題均等化に向け，各教科で課題等を工夫する。

週末及び長期休暇については，入力印刷して調整。目安時間も入力しては。

##### ② 土曜学習について

例 回数や実施日の調整をする。今年度，第2土曜は出来る限り実施した。

##### ③ 合格体験の早期配布

例 3学年と協力して早期依頼・回収につとめる。

センター後・前期後に感想を書かせてはどうか。

#### 2. 保護者評価集計結果に対して

「学習と部活動との両立」「学習内容及び課題の量」に関しては，毎年評価が低い。改善に向け各教科でより一層課題の精選，課題未提出者への指導や追試のあり方を工夫し，放課後など部活動にも打ち込める環境づくりをする。

#### 3. 生徒自己評価集計結果に対して

##### ① 家庭学習

課題の提出は年々改善されてきている。帰宅直後学習の推奨や授業改善により，生徒の意欲や学習習慣をさらに向上させたい。

##### ② 学校の進路情報資料

卒業生からのメッセージの掲示や資料の整理等を進め，生徒が訪れたいくなるような進路資料室にする。進路指導室へ赤本や進路の資料を見に来る生徒を多くするような声かけや工夫をする。

進路資料の生徒への配付や授業時間を利用しての活用については，配付計画・指導計画を立て，配りっぱなしにならず有効に活用できるようにする。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 保健部

### 1. 集計結果の分析・考察

- 1 今年度は19項目のうち、すべて総合判定が◎で良い評価であった。特に次の12項目は総合判定(A+B)100%で高い評価であった。昨年度は項目(1,5,8,9,10,16,17)の7項目だったので改善されていると言える。
- ◎良い評価が得られた項目は次の12項目であった。
- ・項目(1,2,5,7)保健行事や健康診断,保健指導が計画どおり実施できている。
  - ・項目(8)薬物乱用防止街頭キャンペーンへの参加や保健部講演会における薬物乱用防止の啓発がなされている。
  - ・項目(9,10)体育の授業や部活動を通して集団行動の指導や運動技能,体力向上が図られている。
  - ・項目(12)人権尊重の視点に立った保健・体育の指導がなされている。
  - ・項目(13)生徒職員が一体となり校内美化に努めている。
  - ・項目(16,18)防火防災訓練,安全点検が的確にできた。
  - ・項目(19)公共物の使用やリサイクルに努めている。
- 2 項目別に細かくみていくと次の項目で「C」あまりあてはまらないとの回答があり,改善工夫が必要であると思われる。
- ・項目(3,4)学校保健委員会・生徒保健委員会の活動の上、学校全体で生徒の健康教育推進に取り組んでいる。保護者及び医療機関との連携が図られている。悩みを抱える生徒の実態把握と適切な「心のケア」ができています。
  - ・項目(11)生徒の自主性を生かした体育的行事が行われている。
  - ・項目(14,15)生徒職員が一体となり校内美化,塵の分別,収集に努めている。清掃用具の管理が適切に行われている。
  - ・項目(17)災害に関する危機意識向上の指導は適切に行われている。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- 1 良い評価だった項目についてはさらに継続して取り組んでいきたい。
- 2 改善を要する点についての今後の在り方・方向性
- ①生徒保健委員会等を通しての活動の活性化。また、担任及び保護者、関係機関との連携を密に心がけ対応していく。
  - ②環境美化に対する意識は高まっているが、日常生活における清掃の徹底,清掃内容についての意識を全体として図っていく必要があるのではないかと。
  - ③訓練時のみならず、災害を身近なものとしてとらえることができるよう、日常の話題にとりあげることで、意識の向上を図っていく。
- ※項目6に対しての意見として、  
スクールカウンセラーと係・担任と連絡連携がもう少し密になるとよいと感じた。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 教職員自己評価

### 1. 集計結果の分析・考察

〔全体的な傾向〕

昨年につき、総合判定は、すべての項目で◎となっている。例年の傾向だが、判定Dをつけた職員が20項目中0人（昨年は12項目に1人）。ほとんどがA・Bの評価である。Aの評価で見ると、2と13の項目が7で最も少なく、それに項目15が8で続く。

〔Aの評価の少ない項目の分析・考察〕

○2（社会の変化への対応・教育に関する提言や地域の意見の収集及び理解）

設問のイメージするものが理解しづらかったのではないかと、または、そこまでの対応は現実無理ではないかと思った職員も多かったのではないかとと思われる。ただ、生徒数が少なくなっていく中で、地域の意見を収集し生徒募集につなげてく必要性は今後さらに高まっていくだろう。

○13（特別教育活動(LHR・行事・生徒会等)への取り組ませ方、生徒の活動について)

LHR・学校行事・生徒会活動は担任または係主体となるため、それ以外の職員は直接的に携わっていないからとの意識の表れと思われる。

○15（進路指導計画に従った、的確な進路指導の実践）

各学年ともに生徒及び保護者へ進路情報を提供し、計画的に進路指導を行っている。ただ、的確な実践となるとAの「よくあてはまる」でなくBの「ややあてはまる」を選んだのではないだろうか、この結果は、本校職員の自己評価の厳しさからきた数字ではないか。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

〔改善策〕

13の項目については、現在のところ主に担任または携わっている係でないとして評価しづらい内容である。2、15の項目は、求めものが高すぎると印象を与えているかもしれない。

担任だけ・係だけの仕事とならないよう、職員全体で考え、フォローし、支えあっていくような、連携した教育活動を目指していくべきだと考える。また一方では、仕事を公平に分担できるような体制の構築も図っていくべきではないか。

〔その他の項目の今後の在り方・方向性〕 ※評価の高いものについて

4の服務規律の遵守に関しては、逐次職員への呼びかけ・校内研修をはじめ、指高インフォメーションの配布による新聞記事の抜粋等によって日頃から職員への意識付けが継続的に行われている。（昨年度に同じ）

6の学力の実態に即した教材研究・授業方法の工夫・改善については、数学科のアクティブラーニングの導入以降、各教科ともにそれぞれが切磋琢磨し、指高のさらなる向上を目指していけるものとの確信する。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 1 学年

### 1. 集計結果の分析・考察

#### 1 学校行事・特別活動に関する評価（番号1～8）・・・・・・すべて◎

- 1 「学校行事への参加」→C評価は1名のみ。あとはA, Bと回答している。
  - 2 「講演等」3 「LHR・総合」→90%以上の生徒がA, Bと回答。
  - 4 「朝読書」→97%がA, Bと回答。
  - 5 「保護者への配布物」→◎ではあるが, 18%がC, 1%がDと回答。
  - 6 「後輩にも勧められる学校」→96%がA, Bと回答。
  - 7 「先生方から適切なアドバイスをもらっている」→◎ではあるが13%がC, D。
  - 8 「部活動・生徒会」→96%がA, Bと回答。C, Dの回答8%（昨年22%）。
- 概ね前向きな高校生活を送っていることが見受けられる。課題としては, C, Dの回答が10%を超えた上記5, 7が挙げられる。「部活動・生徒会」に関しては, C, Dの回答が昨年より減っており, 積極的に参加していることがうかがえる。

#### 2 行動規範・行動倫理に関する評価（番号9～11）・・・・・・すべて◎

- 9 「交通ルール・社会生活のマナー」→99%の生徒がA, Bと回答。Cは1%。
  - 10 「携帯電話・音声プレーヤー」→◎ではあるが, 1%がC, 7%がDと回答。
  - 11 「困っている人への援助」→89%がA, Bと回答。11%がCと回答。
- すべて◎であるが, 「携帯電話・音声プレーヤー」で7%がD, 「困っている人への援助」で11%がCと回答しており, 今後も指導を続けなければならない。

#### 3 学習・進路意識に関する評価（番号12～14）・・・・・・△2×1

- 12 「ノートの工夫」→78%がA, Bと回答。22%がC, Dと回答。
  - 13 「家庭での予習・復習」→68%がA, Bと回答。32%がCと回答。
  - 14 「進路指導等の資料活用」→37%がA, Bと回答。43%がC, 19%がD。
- この内容については評価が低かった。「進路指導等の資料活用」は評価が×でC, Dが62%であった（昨年60%）。

#### 4 保健・安全面に関する評価（番号15～17）・・・・・・すべて◎

- 15 「健康管理」→83%がA, Bと回答。17%がCと回答。
  - 16 「清掃への取り組み」→89%がA, Bと回答。11%がC, Dと回答。
  - 17 「災害時の行動」→88%がA, Bと回答。12%がCと回答。
- すべて◎であるが, 「健康管理」はCが17%でもっと意識づけを行う必要がある。また, 「清掃への取り組み」については, A, B100%を目指さねばならない。

#### 5 指導に関する評価（番号18～22）・・・・・・すべて◎

- 18 「指導法の工夫」19 「課題の適正」20 「相談」21 「授業の終始」→いずれも90%以上の生徒がA, Bと回答。
  - 22 「すべての生徒に対して公平」→80%がA, Bと回答。20%がC, Dと回答。
- すべて◎であるが, 「すべての生徒に対して公平」は, 20%がC, Dと回答しており, 指導の意思統一が必要であると思われる。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

学校行事や特別活動に前向きに取り組んでいる姿勢は評価したい。一方で, 学力が懸念される生徒, 学習時間が不足している生徒もでてきており, 学習方法について放課後等を利用しながら今後も粘り強く指導を行わねばならない。また, 進路意識に関する評価の向上のため, 何らかの具体策を講じたい。昨年は, 1D教室には蛍雪時代などを置いていつでも見られるようにはしていたそうであるが, もっと「進路に関する調べ学習」の時間を確保しなければならないと考える。3年間を見通した進路指導のために, この学年の最大の検討課題と考える。行動規範・行動倫理に関する意識を持たせながら, 文武両道を果たせる生徒を1人でも多く育てていきたい。



# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 2 学年

<p>1. 集計結果の分析・考察</p>
<p><b>1 学校行事・特別活動に関する評価（番号1～8） . . . . . 全て◎</b> 全ての項目において概ね良好な回答であった。ただし「5：保護者への配布物や学校の様子を伝えること」「8：部活動や生徒会活動の積極的参加」以上の2点についてCかDと評価した生徒が数として2桁を超えた。5については回収物など各クラスとも期限内になかなか集まらなかったりすることから、今後進路などにおいて保護者と大切な連絡をやりとりしていくことも踏まえ、さらに生徒達の意識付けが必要かと思われる。8については、学級の生徒会活動に積極的に参加し帰属意識を高めていくことが大切であるが、昨年度△だったことを考えると学年を経て改善したということも考えられる。</p> <p><b>2 行動規範・行動倫理に関する評価（番号9～11） . . . . . 全て◎</b> 良い評価が得られており、昨年度の評価と比較してもほとんど変わらない。Dと答えた数は減少しており、今後も引き続き指導していきたい。</p> <p><b>3 学習・進路意識に関する評価（番号12～14） . . . . . △2, ×1</b> 全体的にあまり良い評価が得られていない。 「12：宅習やノートの活用」「13 家庭での予習・復習」は昨年度と比較してほぼ同じ結果で△である。学習実態調査をみてもこの傾向は現れているので問題点を精査し、早急に問題解決をしていかなければならない。 「14 進路指導資料などの活用」については、過半数以上がCとDである。活用の仕方を今一度理解させるとともに、進路の定まっていない生徒、あるいは進路について悩んでいる生徒へのきっかけ作りとしても利用促進を計っていきたい。</p> <p><b>4 保健・安全面に関する評価（番号15～17） . . . . . ◎1, △2</b> 16の清掃・美化については高い評価が得られたが、基本的な生活習慣と災害時の危機管理については2割超の評価が低い。特に基本的な生活習慣については学校生活を送る上で、当たり前のことであり大切なことであるが意識が定着していない。他の項目のベースにもなることから、家庭との連携や「向上の道」からも実態を把握し、改善の糸口を見つけて、粘り強く指導していきたいと考える。</p> <p><b>5 指導に関する評価（番号18～22） . . . . . 全て◎</b> 全ての項目において概ね良好な回答であった。5項目の中で「18：指導法や課題などの工夫」「20：生徒への声かけ」「21：授業のけじめや自習の手立て」は90%を超える生徒が良いという回答をした。このことについては日頃の指導の成果が反映されたといえる嬉しい結果である。その反面、「19：適切な課題」「22：全ての生徒への公正な態度」については1割を超える生徒が不満を持っている結果も見逃せない。また、前述の良い評価が得られた3項目についてもわずかではあるが“全くあてはまらない”と答えている生徒がいる。 このことを踏まえて、生徒とのコミュニケーションや職員同士の連携をもっと充実させて、情報交換をしながらよりよい指導の仕方を考えていく必要がある。</p>
<p>2. 改善策及び今後の在り方・方向性等</p>
<p>入学時から学習能力の幅が広く、特に下位層の生徒達の提出物状況には指導に苦慮している面がある。また集団を引っ張るようなリーダーシップをとる生徒がいるわけではないが、集団のまとまりはあり、指導には素直にに応じてくれる生徒達である。そのため、具体的な方向性を指示し指導を個々におこなうと取り組む努力をすることはできる。そういった特性を生かしながら粘り強く指導していく必要がある。</p> <p>さらに残りの1年をどのように導いていくかが大事である。この1年間が最終的な進路実現および卒業後の生活力の基盤となることから、今後は指示してやらせるだけではなく自分自身で考えさせるという自主的な取り組みや積極的な姿勢を引き出すことも増やしていく必要がある。特に評価で低かった進路や学習のあり方、基本的な生活習慣の定着については、生徒自身がまず考え動く姿勢を養うための方策を、職員が互いに連携しながら工夫していきたい。</p>

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 3 学年

<p>1. 集計結果の分析・考察</p>
<p>1 学校行事・特別活動に関する評価（番号1～8）・・・すべて◎ 5「保護者宛の配布物や学校についての会話」の項目は、昨年・一昨年と「△」であったが、現3学年は1年次から「◎」である。 6「後輩に勧められる学校」の項目について、Dの人数が1、2年次3名ずつだったのに対し、今回は0名であった。 ほとんどすべての項目についてとDの人数が減ったため、今後も継続して指導を行っていききたい。</p> <p>2 行動規範・行動倫理に関する評価（番号9～11）・・・すべて◎ この学年の1、2年次と比較しても、例年の3年生と比較してもかなり評価が高い。規範意識を持って行動できている。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>3 学習・進路意識に関する評価（番号12～14）・・・◎2、△1 昨年度の評価と比較して、すべての項目で良い方へと変わった。 12「宅習やノートの活用」について、昨年は「△」、今年は「◎」。学習の定着ができている結果である。 13「家庭での予習・復習」が大幅に評価を上げた。この学年は1年次から学習の取り組みがよく、成績を向上させてきた。そのため、3年生になって課題が増えてもしっかり対応できる姿勢が身につけていた結果である。 14「進路指導資料の活用」については、明確な目標が立てられていないということが低評価に繋がっていると思われる。毎年評価の低い項目であり、資料の活用や進路相談等を積極的に行うような仕掛けを学年全体としても考えなければならない。特に大学・短大・専門学校・就職で悩んでいる生徒への声かけはもちろんであるが、特にこれと決まっていない生徒へのアプローチが必要となる。</p> <p>4 保健・安全面に関する評価（番号15～17）・・・すべて◎ 昨年度と同様、評価は良い。ただ清掃に取り組むだけでなく、積極的に清掃をする姿勢作りを育てていきたい。</p> <p>5 指導に関する評価（番号18～22）・・・すべて◎ すべての項目において高い評価を得ている。指高生としての生徒の質の高さ、さらに生徒が教師を信じて指導についてきている表れである。「生徒と教師の信頼関係があればこそ」であり、この信頼を力にして、これからも「生徒のために」という気持ちを持って指導に取り組んでいきたい。</p>
<p>2. 改善策及び今後の在り方・方向性等</p>
<p>この学年の生徒は学習を苦にせず、懸命に取り組んできた。提出物等も期限内にほとんどの者が提出できており、指導に素直な生徒が多い。そのため成績も向上し、さらに意欲の向上に繋がるなど、希望の進路実現を達成できる生徒が多い学年である。だからこそ教師がいかに導くことができるか、教師の力が大きく影響を与える。この生徒達の目標をぜひとも達成し、そこから次の指高生の獲得に努めていきたい。</p>

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

平成28年度

## 保護者

### 1. 集計結果の分析・考察

#### ○回収率

全体の回収率は、97.7%だった。(昨年度は、93.3%)  
回収率は、例年と同様に高かった。

#### ○評価の全体傾向

各学年ともAとBの評価が多いが、10(職員のチームワークと指導への信頼)と15(学習と部活動の両立)の項目が△であった。その他は◎だった。

#### ○項目ごとの集計

< A, Bの合計が多いもの >

18. 文化祭・体育祭・遠行など諸行事に生徒が積極的に参加している。(286人)

17. 環境美化に努め、校内・学校周辺の清掃が適切になされている。(284人)

8. 交通ルール・乗車マナーを守って通学している。(281人)

7. 服装・髪型・あいさつなどきちんと指導がなされている。(280人)

19. 指宿高校には友人が多く、良い刺激を受けている。(277人)

5項目とも、昨年度と同様、評価が高かった。総じて指宿高校生は基本的な生活習慣が確立されており、有意義な学校生活を過ごせていると保護者も感じておられるようである。

< C, Dの合計が多いもの >

15. 学習と部活動の両立がうまくなされている。(57人)

14. 学習内容及び課題の量は適切である。(33人)

11. 生徒一人一人を大切に、個に応じた学習・進路指導がなされている。(33人)

10. 職員のチームワークが良く、指導に信頼がおける。(32人)

いずれも昨年度、一昨年度同様に、評価が低かった。合計数は15. は昨年同と同数、14. 11. 10. は昨年度よりも数は減少した。生徒の学力差も大きく、個々の指導が難しくなっている現状がある。しかしながら、進学校としての学力向上、生徒が希望する進路実現への期待も高く、相応の課題を課さねばならず、生徒によっては対応しきれない状況も見受けられ、部活動との両立に苦慮していると思われる。

10については、保護者の信頼が高まるよう、なお一層チームワークをよくして教育活動に取り組んでいきたい。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

○ 放課後は生徒が部活動に取り組めるように、部活の時間帯を保障することを教職員間で再確認する必要があると考える。学習と部活動の両立については、それぞれの教科で指導法を話し合い、学力差に応じた少人数指導、その適正なクラス分けを考えていく。しかし、生徒数減に伴う職員の定数減もあり、対応は容易ではない。

○ また、学習と部活動の両立については、教科、部活動の担当者間の連携を図り、下校時間の厳守、土日の過ごし方など、時間の使い方の指導も行う。また各教科間では、課題の量の調整を適宜行う。本当に課題の量が調整されているのか生徒の記録する『向上の道』をもとに、再評価する必要があるが職員の多忙化から、対応は容易ではない。

平成28年度 第1回F I 委員会 (For Improvement~改善のための委員会)  
(学校関係者評価委員会報告)

鹿児島県立指宿高等学校

1 日 時 平成28年6月10日(金) 14:30~16:30

2 場 所 本館図書館

3 出席者 合計15名

評価委員(4名)

・公民館主事 ・公立中学校長 ・同窓会長 ・前PTA副会長

学校側出席者(11名)

・校長 ・教頭 ・事務長 ・4部主任(教務, 生徒指導, 進路指導, 保健)  
・各学年主任 ・教務部副主任(記録係)

4 会順および内容

- (1) 評価委員へ委嘱状交付 (2) 学校施設案内 (3) 校長挨拶  
(4) 学校概況説明(4部及び各学年) (5) 質疑応答, 提言等 (6) 閉会の挨拶

5 意見交換録(○評価委員からの質問・提言, ◇学校職員の応答・説明)

(1) 本校の印象について

- 鹿児島市内の高校を志望する生徒もいるが, 指宿高校は地元の進学校として位置付けられている。
- 指宿高校に好印象を持っている中学生も多い。
- 先生達の熱意ある指導に感謝している。上級学校進学するとき, 推薦入試の活用がもっとあるとよい。

(2) 本校の主権者教育について

- 18歳選挙権についての取り組みはどんな状況か。
- ◇ 3月に全体指導を行い, 5月の生徒会選挙において, 指宿市選管から記載台と投票箱を借りて実施するなどの取り組みを行った。

(3) 本校の生徒指導について

- 生徒達の休日や校外での生活の様子はどうか。
- ◇ 土日も土曜学習や模試, 部活など結構登校している。
- ◇ 全体的に高校生の自転車が, 駅できちんと並べることができていない。
- 四校PTAなどでも話題にしたい。また, JRの乗車指導も継続して行いたい。
- 熊本地震のとき被災した娘とLINEで繋がり助かった。携帯電話にはよい点もある。携帯電話使用の現状はどうなっているのか。
- ◇ 原則として持ち込み禁止である。しかし, 熊本地震の時には, ケータイ・スマホの特別許可の措置取った。

平成28年度 第2回F I委員会 (For Improvement~改善のための委員会)  
(学校関係者評価委員会報告)

鹿児島県立指宿高等学校

1 日 時 平成28年12月9日(金) 14:40~16:20

2 場 所 本館図書館

3 出席者 合計16名

評価委員(5名)

・公民館主事 ・公立中学校長 ・同窓会長 ・PTA会長 ・前PTA副会長

学校側出席者(11名)

・校長 ・教頭 ・事務長 ・4部主任(教務, 生徒指導, 進路指導, 保健)

・各学年主任 ・教務部副主任(記録係)

4 会順および内容

(1) 授業参観 (2) 校長挨拶 (3) 学校概況説明(4部及び各学年)

(4) 質疑応答, 提言等 (5) 閉会の挨拶

5 意見交換録(○評価委員からの質問・提言, ◇学校職員の応答・説明)

(1) 地域貢献について

○ 夏休み公民館へ指宿高校生が来て, 子ども達に勉強を教えていた。大変感謝している。

◇ 夏休み前, 市役所の方から「地域貢献」についての講演を頂き, ボランティア活動の意義が再認された。他の地区でも同様の活動をして, 地域の方々に喜ばれている。

(2) 学校の様子, 授業参観の感想

○ 生徒が落ち着いて, 学び合っている。

◇ 英語科では, 英語検定やGTECなど文科省が進める外部試験導入にも重点的に取り組んでいきたい。

○ 大部分は真面目だが, ごく一部だが, 通学途中で気になる生徒もいる。

○ 弓道部が秋の県大会でベスト4になった活躍は喜ばしい。一方で, 部活動が少なくなつて生徒募集に影響が出ないか心配である。卓球, テニスなど人気だが本校ではできないか。

○ 学校概況説明を聞くとたいへん素晴らしい取り組みをしている。指高の素晴らしさを伝える場がもっとあったらいい。

○ 支援が必要な生徒は少なからずいる。これからは特別支援教育も重要になってくる。

◇ 平成30年度から通級指導が始まる。高校でも課題としていかなければならない。

(3) 生徒募集について

○ かつて入学者が多かった喜入中出身者を増やす取り組みをしてみてはどうか。

◇ アクティブ・ラーニングの取り組みが, 進学実績にも繋がり, 更に生徒募集のために学校PRになるとよい。

◇ 街中に学校PRの看板が掲げられている学校もある。

平成28年度 第3回F I 委員会 (For Improvement～改善のための委員会)  
(学校関係者評価委員会報告)

鹿児島県立指宿高等学校

1 日 時 平成29年2月23日(木) 14:30～16:00

2 場 所 本館図書館

3 出席者 合計14名

評価委員(3名)

・公民館主事 ・公立中学校長 ・PTA会長

学校側出席者(11名)

・校長 ・教頭 ・事務長 ・4部主任(教務, 生徒指導, 進路指導, 保健)

・各学年主任 ・教務部副主任(記録係)

4 会順および内容

(1) 校長挨拶 (2) 学校評価及び概況説明(4部, 各学年及び生徒・保護者分)

(3) 質疑応答, 提言等(学校関係者評価) (4) 閉会の挨拶

5 意見交換録(○評価委員からの質問・提言, ◇学校職員の応答・説明)

(1) 勉強と部活動の両立について

○ 普通科高校に進学している以上, 勉強するのは当然。部活動の取り組みについてはどのように考えているか。学習と部活動の両立はできているか?

○ 親として, 部活動と勉強を合わせて取り組ませてほしい。教科間の調整もお願いしたい。

◇ 時間の線引きをしっかりと指導している。宿題の調整も教科間で行っている。

◇ 週に1度は部活動の休みを設定している。職員間で共通理解を図っている。

(2) 職員の勤務時間について

○ 部活動の指導で勤務が長時間で問題になっていないか?

◇ 好きでやっている顧問には, 問題にならない。

◇ 時間外の長時間勤務は, 健康管理の観点から問題である。健康への配慮も必要である。

(3) 生徒募集について

○ 高校入試において志願者が少なかったのは意外であった。中学生やその保護者に鹿児島市内志向, 私立志向があるのではないか。二次募集があるから市内を挑戦するという中学生もいる。もっと本校の良さをアピールする必要がある。

○ 人間力を高め, 部活動に取り組み, 国公立大学をはじめ種々の進学を目指すところが指宿高校の魅力であると感じている。

◇ 国数英など習熟度による授業を実施し, きめ細かい指導をしている。

○ アクティブ・ラーニング型の授業による学び合いの取り組みは大変良い。ところで, 夏の中学生一日体験入学以外に部活動やボランティア活動等で中学生と高校生の交流の機会がもっとあるといい。